

作るなら今がチャンス！「デジ活」の第一歩を踏み出そう

メリット① 番号提示&本人確認書類に！

マイナンバー提示と本人確認が必要な場面では、1枚でその役割を果たせる唯一のカードです。未成年者など運転免許証がない人には心強い存在です。

メリット③ 民間サービスに！

銀行のオンラインバンキングや証券口座の開設、住宅ローンのオンライン契約など、民間企業が提供しているサービスにも、活用機会が広がっています。

メリット⑤ 今ならマイナポイントがもらえる！

メリット② オンライン手続きに！

国が運営するマイナポータルにログインするなどして、子育てや介護などの行政手続きをオンライン上でワンストップで行うことができます。

メリット④ もっと便利に！

複数のカードを一体化することができます。健康保険証として利用できるようになったほか、将来は運転免許証との一体化なども検討されています。

マイナンバーの申請から
受取りまでの流れはこちら▶



はじまっています！

マイナポイント第2弾

最大 **20,000** 円分の
マイナポイントがもらえる！

マイナンバーカードの
新規取得等で

5,000 円分

健康保険証としての
利用申込みで

7,500 円分

6/30(木)開始！
公金受取口座の
登録で

7,500 円分

※マイナポイントを受け取るには、マイナンバーカードを使って、マイナポイントの申込みを行う必要があります。

最新情報はマイナポイント事業
ホームページをご覧ください！



用語解説

ICチップ（集積回路）

電子的な処理やデータを記憶させておくことができるチップのことで、この部品が組み込まれたカードが「ICカード」。クレジットカードやスマートフォン、ゲーム機などに欠かせない部品になっている。

マイナポイント

マイナンバーカード取得者を対象としたポイント付与キャンペーン。対象となるキャッシュレス決済サービスを選び条件に応じてポイントを受け取り、お買い物などに利用することができる。

みなさんの「困りごと」を教えてください

「デジタルが苦手」、「これってデジタルで解決できないの?」、「日常でこんな悩みがある」など、みなさんが暮らしの中で感じている困りごとをお聞かせください。寄せられたご意見は、町のデジタル化やその他の取り組みの参考にさせていただきます。



▲ご意見はこちら

お問い合わせ先 総務課 行政係 ☎ 52-7111



暮らしに身近なものになってきた ICT・デジタル技術について、さまざまな情報を発信する連載企画「#デジ活」。第2回目のテーマは「マイナンバーカード」です。

住民の3人に1人が取得しているマイナンバーカード。今回はカードの仕組みや活用のメリット、現在行われているマイナポイント第2弾についてご紹介します。まだ取得していない人は、今こそ申請のチャンスです！

「めんどくさい」を無くし、豊かな社会をつくるために

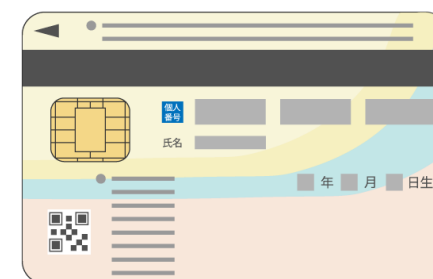
平成28年に始まった「個人番号（マイナンバー）制度」は、国民1人ひとりに発行される12桁の番号（マイナンバー）を用いて、行政手続などにおける特定の個人を識別するための制度です。

このマイナンバーによって、書類提出などの手間を省略できるので、面倒な手続きを簡単にすることができます。また、行政側の事務処理をスムーズに行えるようになり、税や社会保険の負担における不正受給を防ぐことにもつながります。

行政の効率化、国民の利便性の向上、公平・公正な社会の実現のための土台になるのがマイナンバーなのです。

マイナンバーカードで、もっと便利な暮らしへ

マイナンバーカードは、マイナンバーをより便利で安全に使うために交付される顔写真付き IC カードです。このカード1枚で、個人番号の提示はもちろん、本人確認や税金・社会保険に関する手続きなどでもできるようになります。



マイナンバーカードQ&A

・どんな情報が記載されているの？

表面…氏名、住所、生年月日、顔写真などの基本的な個人情報
裏面…個人番号、ICチップ（表面の個人情報、電子証明書などを記録）

・だれでも取得できるの？

15歳未満と成年被後見人の人は、法定代理人による申請が必要です。

・通知カードとの違いは？

マイナンバーカードは顔写真付きなので、本人確認書類にもなります。また、オンライン取引や確定申告（e-Tax）を行うことも可能です。

・本当に安全なの？

税や年金など、プライバシーの高い個人情報は記録されていません。カード内の情報を使うには本人しか知らないパスワードが必要であり、第3者に悪用されそうなどときには自動的に情報がロックされます。

全国的にも普及はまだこれから！

国では、令和4年度末までにほとんどの人が保有することを目指して普及活動を行っていますが、なかなか進んでいない状況です。氷川町では少しずつ交付率が増加しており、今では3人に1人が取得しています。

交付枚数と交付率（R4.4.1現在）

	交付枚数	交付率
国	約5487万枚	43.3%
熊本県	約74万枚	42.4%
氷川町	3,776枚	32.7%

